

第1回 東寺方小学区エリアミーティング 開催報告

日時：2025年10月11日（土）10:00～13:00

会場：多摩市立東寺方小学校 ランチルーム

第1回多摩市エリアミーティングは、3時間のプログラム2部構成で開催。参加者は30名を超え、5人のチームで6班の構成。

前半部は、自治体シミュレーションゲーム。仮想都市の市役所から全市職員が突然いなくなり、残った住民で地域を守るという設定でした。各班が同一条件でプレーするもので、進め方によって最終的にそれぞれ異なる結論に到達するゲームでした。3ラウンドのうち、第1ラウンドでは、参加者ごとに、総務部長といった業務が任命され、チーム内の5部署で話し合いながら19事業のうちの16事業を残すミッションが課されました。

「子どもたちや将来のために」、「暮らしやすさとは何か」、「学べる」というコンセプトで進めていき、ビジョンを確立してから議論をまとめていくグループがいくつもありました。



第2ラウンドは、一定期間が経過し、市長選の時期となり、公約を掲げる2候補者から住民投票で市長を選出、さらに新市長の公約に基づき既存事業のあり方を検討していくものでした。事業の削減や市債発行といったシーンもあり、財政学や行政学に触れる機会にもなりました。市議会での質疑といったプロセスも経て、第3ラウンドでは最終的にどのような市になったのかを各テーブルでまとめ、選択した経路によって報酬が出て、ゲームが終了しました。



後半部は、ゼミ学生がマイクを持ち、ショートワークショップが開催されました。開催の目的は、前半部の自治体シミュレーションゲームが、エリアミーティングの定義である「地域について知り、考え、参画の機会を築き上げていくために」にどう関連しているのかを明らかにすることと、後続のエリアミーティングなどへのつなぎという役目でした。

はじめに、自治体シミュレーションゲームから、自治体の運営が、私たち一般の組織運営、ひいては地域運営と相通じるものがある点を示しました。次いで、地域という場では、

貨幣というツールを用いた日常とは異なる議論が必要である点を明らかにしました。ここで、重要なキーワードとなる「興味があること」というフレーズが紹介されました。

「興味があること」と「地域への関心」は、既に私たちのエリアミーティングにおいて、「ミニプロジェクト」として活動展開がなされています。第2回エリアミーティングでは、「得意なこと」を客観的に見つけるゲームをテーマとしていることから、当日の事前学習として、具体的にいまどのようなミニプロジェクトが繰り広げられているのかを紹介しました。

ここでショートワークショップに入り、興味があるミニプロジェクトを各自ピックアップしていただきました。さらに、テーブル内ではどのようなミニプロジェクトにどういった理由で人気があり、あるいは新しいミニプロジェクト提案があるか、など議論を重ねました。後半部は40分ほどでまとめられて、第2回エリアミーティングへの改めてのお誘い、そして今年度予定されているエリア・協創合同ミーティングや、多摩市協創フォーラムなどの概要について共有しました。

今回、司会・進行を務めたのは、初めての顔合わせから間もない、2年生の新ゼミメンバーによるものでした。4年ゼミは卒業論文執筆のため参加は見合わせ、3年ゼミは各テーブルのサポートを行いました。世代交代や担い手、引き継ぎという過程は、日常の様々な場で直面することであることに気づく機会になりました。

第2回エリアミーティングへのご参加を、ご近所やお友達もお誘い合わせの上、心よりお待ちしております。

（ゼミ研究室）